重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	個人のプライバシーを保護するという意識を市民が持っている		年度	平成27年度
			責任部長	総務部長
			主担当課長	行政課長
施策名	個人情報を保護する	No.46	関係課	人事課、情報推進課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
プライバシーの侵害を受けたと感じた苦情件数（件）	↘	990	918	510	569	661	605	913
		605	587	1,144	1,448			615
プライバシーの保護を意識している人の割合（%）	↗	81.5	83.0	81.5	81.0	81.1	78.3	85.2
		78.3	81.4	81.2	80.9			88.5
過度なプライバシー意識のため、生活弱者に関する相談ができなかった人の割合（%）	↘	19.7	13.1	12.4	12.6	13.7	10.8	16.7
		10.8	9.9	10.8	11.1			11.6

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

個人情報保護を巡っては、事業者の取り組みが進んできている一方、依然として大規模な個人情報漏えい事案が発生し、個人情報の取り扱いに関する国民の不安も高い状況にある。
また、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の誤解等に起因して、必要とされる個人情報の提供が控えられたり、プライバシー意識の高まり等を背景に、各種名簿の作成が中止されるなど、「過剰反応」と言われる状況も一部に見られる。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	B 停滞	個人のプライバシー保護に対しての意識は市民の中で高まっており、むしろ過剰と思われるほどの反応がみられる。プライバシーの侵害を受けたと感じた人の件数は相談窓口の体制強化（相談員の増）によってほぼ倍増しており、今までも潜在的な苦情があったと考えられる。プライバシーの保護を意識している人の割合も横ばいであり、取組が停滞しているといえる。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）
個人情報保護の取組について市民が市を信頼している	市民が個人情報保護について正しく理解する		
個人情報保護事務	個人情報保護啓発事業		
情報セキュリティ対策事業			
職員研修事業			

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果の設定は、市と市民の両面から捉えられており問題はない。また、各事務事業は個人情報の取り扱いに係る市の取組、市民の理解の向上に資する内容となっており、長期成果が導かれると考える。
次年度の改善計画	プライバシーの侵害を受けたと感じた人の件数は、平成25年度から相談窓口の体制強化（相談員の増）によってほぼ倍増しているが、市としては引き続き各事務事業を推進していきたいと考える。

＊＊＊